

香和会報

第9号

発行日 昭和63年8月20日



▲ 昭和62年度研修会・東京ディズニーランドにて

会長あいさつ — 長江曜子

皆様お元気でいらっしゃいますか。私は、会長4年目を迎えました。今年こそ、会員の方々に対して、わかりやすく、利用しやすい香和会の組織作りを心掛けたいと存じます。

さて、昨年度の香和会事業の大きな柱は、事務のコンピュータ化でした。この会報の入っていた封筒の宛名の部分を御覧下さい。DMラベルが貼られているのがわかるはずです。このDMラベルこそ、20年近く毎年、役員、代議員の方々のボランティアで書きさされていた宛名が、始めてコンピュータ処理されたものなのです。「なんだ、そんなものか。」と思わないで下さい。2万数千人分のデータがコンピュータに入るということは、毎年発行している卒業年度の名簿を編集・発行をする際の省エネ（印刷の版下をコンピュータ処理で作成するため、発行費が大変安くなりました）化に役立つだけではなく、最新のクラス名簿の打出しも、皆様の御希望があればすぐにサービス出来る体制になったことを意味します。これは、まさに大きな変化といえましょう。また、今後の香和会事務処理は、このDMラベル中にある皆様の会員番号をもとに成されます。この番号をぜひ御記憶下さい。

2万数千人の会員の皆様とのコミュニケーションの一つのkeywordが、この番号と言えるのではないのでしょうか。日本、いや世界中に散らばっている香和会会員を、結びつけるものなのです。また、今年度は、皆様

とのそんな「和」を、「輪」に変えて広げたいと存じます。その企画として、まず、会員同志が香和会を中心に、ボランティアの輪を広げたいと思います。お金にならないから、やることはばかばかしいと考えずに、自分の持っている可能性を広げる一つの「舞台」に香和会を利用してほしいのです。その一つの試みとして、「人材バンク」と言えるものを、香和会で作りたくと存じます。まずは、打出されたDMラベル貼りを皆んなでやったり、総会開催の企画に参加したり、将来は皆様の力を借りて、「香和会」を活性化させる為に役立つ、そんな「人材バンク」を夢見ています。女は、女同志群れやすい割に、意外と手と手を結びにくいものではないでしょうか。ネットワーク作りの第一歩を、こんな身近な、同窓会から始めてみたいものです。

香和会の運営は、役員や代議員一人一人の力と共に、会員2万数千人の力が結びつきあってこそ、本当の活性化に向かうのではないかと思います。それでは皆さんの手と結びつきあう素晴らしい一年の始まりを、祈りたいと思います。





香和会の皆様には、それぞれのお立場に於てご活躍の事とお慶び申し上げます。

昭和63年度の新入生も園児から短大生まで応募者も多く、各学校とも順調にすべり出しました。心配されていた附属小学校も3年目を迎え、在校生も1年生より6年生までに至り、250名を超える数となりました。短期大学の方は、附属高校からの入学者もあって受験時の成績もかなりアップし、入学もだんだん難しくなってきました。確かに成績は高くなり知的水準は上がったのですが、心の発達未成熟さを感じずにはいられません。

現代の若者たちは、「手が虫歯になっている」とか「味覚バカ」であるとか言われていますが、私はそれに「感覚麻痺」をつけ加えたいのです。例えば、正しく箸を扱える学生が何%いるかということです。殆どどの学生が扱えないと言えるでしょう。附属幼稚園の3才と4才の新入園児で、正しく箸の持てる幼児は皆無に近い状態です。それが、園による母親指導によって、6才の卒園時には98%までいくのです。毎日毎日の積み重ねの積極的な指導によって、やっとそれまでに至るのです。もしこの時期に指導がなければ、幼児たちはきつと持てるような機会を失ったことでしょう。箸使いは、年齢がすすむに従って自然にできるものではありません。覚える時期(幼児期)に覚えなければ身につかないのです。

学生達が、スプーンやフォークを使ってお弁当を食べているのを見るにつけ、可哀想な育ち方をしてしまったのと同情を感じるのです。又、味覚の発達が順調であったのが疑わしくなる位、よくジュースやコーヒーを飲みます。料理は、調理のこんだものより、あまり手をかけないハンバーガーなどを喜びます。近い将来母親になるであろう女性の身体は、これで大丈夫なのかと気になるところです。62年度の学生の血液検査によると、学生の12%が貧血の状態でした。若者たちの食生活に、何かが起きているようです。

又、6月の衣替えの時期になっても合服から夏制服に替えようとしませんし、ひどいのは、6月の暑い

日でも冬服を着用している有様です。彼等は母親から衣替えの意味を教えてもらわなかったのか、あるいは季節に対して感覚が麻痺してしまったかでしょう。「私は夏服を着たいのだけれど多くの人が着ないから嫌」という学生も多く、「みんなと同じ物を持ち、みんなと同じことを話題にし、みんなと同じ洋服を着ている」ことに、集団への安定感を見出しているのでしょうか？大学の先生の中には、「誰かが格好よくコートでも着用すればこの夏の中でも流行するかもしれない」という冗談が笑えない現実です。

さて、皆様方の中にはすでに子育ての最中の方、これから始まろうとしている方、いずれにいたしましても多くの方々がその道を歩むことでしょう。近年、子育てに対する社会的状況が著しく変化してきています。政治や行政、教育制度の問題、家庭の内外の問題。ことに、家庭教育と学校教育がバラバラで関連性がなく、その上家庭が地域にかかわることが少なく、子どもたちが孤立化してきていると同様に、地域の中に於いて家庭そのものが孤立化してきています。兄弟の数も少なく、我子の立身出世を願うあまり過剰期待から養育態度にも変化が見えてきました。「成績さえよければ良い子」であり「有名大学に入学した者が立派な人間だ」という大人の評価は、子育てをゆがめ拳句の果てに心身とも脆弱化傾向を示し、困難をのりきるなくまじきを持たないひ弱な青年をつくる結果となってしまったのです。しかし、同じ環境下にあっても、中にはたくましい精神を持った青年もいます。皆様だったら前者、後者どちらをお望みですか？

ある日ある時突然に、問題(例えば非行)が起こるのではなく、日々の生活体験や親のアプローチの積み重ねによって気づかぬうちに方向づけられていくのです。すばらしい日本の青年をつくるかどうかは、皆様方の腕にかかっていることを、お忘れなく!!

●「建学の碑」建立●

去る63年4月27日、短期大学構内1号館前の経世塚の脇に「建学の碑」(写真左)が建立されました。

この碑は、学園創立55周年を記念してつくられたもので、黒御影石の中央に川並弘昭学長先生の書かれた「和」が刻まれています。

この「和」は、皆様もご存知のとおり、学園の建学の精神です。

どっしりとした構え、太く刻まれた文字…母校を訪れた際には、是非ごらんになって下さい。



香和会の皆様へ

顧問 川並 光昭

本年、約3,000名の新入生を迎えた短期大学では、学生総数6,300名の後輩達が勉強しております。聖徳学園全体では実に14,000余名の香和会員予備軍を擁する大学園に成長いたしました。本学の発展は、ひとえに卒業生の皆様の社会におけるご活躍と本学に対するご支援、ご協力の賜と感謝いたしております。

本学は、皆様もご承知のとおり、幼稚園から大学までの一貫教育の完成を目標として教育内容の充実、設備環境の拡大・充実・改善を図って参りましたが、この全学挙げての努力が社会的にも広く認識され、今日の学園となることができました。今後は更に21世紀に飛翔する揺さなき学園の建設を旨として、教職員一同努力して参りたいと存じています。

なお本年は学園創立55周年を迎えることになりましたので、来る10月29日(土)に松戸市秋山にあります短大附属高校において、記念式典を行うことになりました。当日は、式典後に学園傘下各校の生徒、学生によるアトラクション及び祝宴が行なわれる予定です。香和会の皆様は紙面を借ってお知らせいたします。

次に恒例の「聖徳祭」についてご案内いたします。本年は、11月26日(土)27日(日)の両日短期大学におい

て行われる予定です。実行委員会も合宿して計画を練り準備に入ります等、張り切っております。夏休み明けと同時に、活発な行動を開始する予定です。香和会も毎年聖徳祭を援助していただいておりますが、香和会直営のコーナーも設けられバザーも開かれております。どうか先輩の皆様もご来校いただき母校の発展と変遷をご覧いただき、合せて後輩達にご指導頂ければ幸いと存じます。



さて、毎年本学に対する受験生は増大いたしておりますが、これもまた卒業生の皆様のそれぞれの分野におけるご活躍とご協力によるものと感謝いたしております。今後とも、よろしくお願いたします。なお、卒業生の子や、姉妹の場合は極力優先して入学できるような取り計らっておりますが、最近では志願者が急増する等の諸問題もあり、人員に制約があり残念ながらご希望に添い兼ねることもありますので、近親者の受験はなるべく早い時期にお願いいたします。

最後に、本学発展の礎として、香和会会員の皆様との交流の絆をなお強固にして参りたいと願っておりますので、母校に対する一層のご協力をお願いするとともに、皆様方のご発展とご健康をお祈りいたします。

クラス会だより



《第15回生(初等教育) 小島和子さん》

11月15日。卒業以来7年ぶりの再会。みんなどんなに変わっているかしらと、胸をときめかせて銀座マリオン前。13時を知らせる人形時計の踊りが始まる。ていねいなおじぎをして、人形たちが壁の中へおさまった時、いたいた、みんないました。目と目が合ったとたん、思い思いの叫び声、なつかしさと、お互いの変容ぶりに感嘆。全員集合したあと、フランス料理「ル・シャボテ」へ向かう。担任の藤井りょう先生においでいただけなかった事が、とても残念でしたが、先生からのメッセージをみなさんに披露。「先生も相変わらず、お元気そうね。」

《第18回生(保育) 清水千春さん》

私たち昭和58年度卒業保育科Cクラスのクラス会を、6月27日松戸の酔虎伝にて行ないました。

高橋博子先生にも、駆けつけていただき、私たちも23名集まりました。結婚話もチラホラ、その他仕事についての話や、昔に戻って懐かしい話をしたり、あっという間の2時間でした。

昨年、クラス会が出来なかったぶん、来年からは毎年1回ぐらい出来るといいなと思えました。



* 香和会では、幹事の方への手助けとして、クラス会開催通知用の往復ハガキをお渡ししています。開催1ヶ月前までに、卒業回生・学科・クラス・幹事の方の氏名及び連絡先・人数(クラスメイト+先生)を香和会室へご連絡下さい。お待ちしております。なお、クラス会を終えての感想や写真など、ご報告を下されることもお忘れなく！(あなたのご報告が、この会報に載るかもしれませんよ…)

昭和63年度役員紹介

名誉会長 川並弘昭 (学長)
 顧問 川並 光昭 (学生部長)
 勝又 昌義 (初等)
 薮 花雄 (家政)
 大川五兵衛 (文学)
 田中 嘉英 (事務局長)

相談役 阿部 律子 (1・保育)
 川崎真佐代 (4・保育)
 会長 長江 曜子 (9・文学)
 副会長 小川ヨシエ (12・家政)
 会計 金子 清美 (14・文学)
 書記 尾形ひろ美 (16・家政)
 監査 前野恵美子 (2・家政)
 庶務 和田 智子 (16・文学)
 中所けい子 (22・保育)

国分 義行 (保育) 森 昌二 (保育)
 藤井リウ子 (初等) 村川新十郎 (家政)
 副島 敏子 (家政) 佐藤 俊夫 (文学)
 小林 秀雄 (音楽) 吉岡 巖 (音楽)

飯塚 幸子 (2・家政) 古谷ちい子 (3・家政)
 鈴木 恵子 (13・音楽)
 加藤 明子 (22・文学) 斉藤 友子 (22・家政)
 小山 粧子 (17・文学) 萩原 陽子 (21・文学)
 渋谷 幸英 (20・初等) 鈴木久美子 (21・保育)
 塚田 由佳 (19・家政)
 白石理恵子 (19・音楽) 野口富美子 (21・家政)

以上のように決定いたしました。

香和会室からのお知らせ

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。夏も過ぎ香和会室では、秋の総会に向け着々と準備を進めております。

香和会も今年で会員約2万3千名を越える大同窓会となりました。今まで会報等の宛名が手書きであったため大変な作業でしたが、かねてより検討して参りましたコンピュータ化実現により、今年から皆様にお届けする封筒の宛名はラベルになりました。

そこで皆様をお願いいたします。宛名ラベルの右下の番号を同封の総会返信用ハガキの香和会会員番号欄に必ず記入の上、お送り下さい。(例参照) このハガキにより、皆様の住所、氏名を変更しており、卒業後の皆様の住所管理をしています。またハガキには、友人知人等の消息欄があります。現在、消息不明の会員が多数おり、このため総会の通知が事務局に返送され、

連絡がとれません。友人、知人の消息をご存じの方、またお引越、ご結婚等で住所変更の生じた方、香和会室までご連絡下さい。

また作業がコンピュータ化したとはいえ、名簿、会報の発送作業等まだまだ人手に頼らなければなりません。皆様の中でこれら作業のお手伝いをして下さる方を募集いたします。その他香和会は聖徳祭等においても参加しています。これら同窓会活動に興味のある方、香和会に参加活動してみませんか。詳しくは香和会事務局にて受付いたします。

これからも卒業生の皆様のために、香和会をより充実した同窓会に育てていきたいと思ひます。皆様もご協力のほどよろしくお願ひいたします。

開室日時 月曜日～金曜日
 10:00～15:00
 場 所 聖徳学園短期大学
 5号館2階 (内線3515)

宛名ラベル

〒271 松戸市相模台531番地 聖徳 花子 様 15-4123

注：赤文字の番号は、あなたの香和会会員番号です。
 15……回生をあらわします。
 4123…会員番号をあらわします。
 総会返信用ハガキには、必ずこの番号を記入して下さい。

総会返信用ハガキ記入例

香和会会員番号		15-4123
15 回生	文学 科	I 部
国文 専攻	B クラス	(担任) 川並 先生
フリガナ	セイヨクハナコ	(山 姓)
氏 名	聖徳花子	松戸
住 所	〒271 TEL: 04731-651111 1 新住所 2 変更なし	松戸市相模台531番地
勤務先 (社名)	TEL: _____	



▲ウィーン・モーツァルト少年合唱団(63年7月)

川並記念講堂で行なわれているシリーズコンサート。ミュージカルやバレエなど目を楽しませてくれる公演や、歌唱、ピアノ演奏やオーケストラのようにじっくりと聴き入る公演など、様々なジャンルにわたっております。一度、ご鑑賞なさってはいかがでしょう。しかし、学生の授業の一環として行なわれているため、香和会員の皆様にご覧いただける人数に、限りがありますので、あらかじめご了承ください。また、鑑賞対象を香和会員(卒業生)のみとさせていただきます。

今後の公演予定、開演時間、チケット購入方法など、鑑賞に関するお問い合わせは…

聖徳学園短期大学 香和会室

(内線 3515) までどうぞ

● 昭和62年度事業報告 ●

- 62年8月 会報、名簿、総会案内の発送
 - 9月 代議員会(研修会、コンピュータについて)
 - 10月 研修会(サンルートプラザ東京)
代議員会(総会、聖徳祭について)
 - 11月 総会(帝國ホテル)
代議員会(聖徳祭、卒業記念品について)
聖徳祭(バザー開催)
 - 12月 代議員会(聖徳祭報告及び反省)
 - 63年1月 代議員会(卒業記念品について)
 - 3月 代議員会(入学記念品、名簿について)
卒業式 18日:家政学科、文学科、音楽科
(短大体育館)会長他出席
19日:保育科、初等教育学科
(記念講堂)会長他出席
謝恩会(帝國ホテル)会長他出席
 - 4月 入学式(短大体育館)会長他出席
新入生歓迎会(短大体育館)会長他出席
 - 5月 代議員会(研修会、新年度役員について)
 - 6月 代議員会(新年度役員、予算案について)
- 他、63年4月には、川並香順先生を偲ぶ会(於帝國ホテル)、創立記念式典(於記念講堂)が行なわれ、会長他出席いたしました。

山梨県にある山中湖荘、そして、長野県にあるかすが荘の2つのセミナーハウス。近頃は、ご利用いただく方も、いちだんと増えてきたようです。

自然環境に恵まれ、さらに施設も充実していて、お料理もおいしい…と聞いたら、「行ってみたいナ」という気持ちになってきませんか? そう思ったら、是非一度ご利用下さい。ご家族でのレジャーに、または学生時代の友人との小旅行に、テニスやスキーなどスポーツをするために、と過ごし方はいろいろです。

利用料金 (か=かすが荘 山=山中湖荘)

区分	期間		7/20~8/31 及び休日 休前日	12/31~1/3
	右期以外の 平日			
卒業生・家族	か	7,000	8,000	9,000
	山	6,000	7,000	8,000
紹介者・他	か	8,500~	9,500~	11,500~
	山	7,000	8,000	9,000
子供	共通		3才~小学生	2,500
			乳児	500

山中湖荘へは、新宿から高速バスで約2時間。かすが荘へは、上野から列車・バスで約2時間30分です。

利用申込

短大学生第2課へ申込書を請求して下さい。

(窓口又は、60円切手同封のうえ封書にて)

くわしくは、学生第2課(内線3138)まで

● 昭和63年度事業計画 ●

- 63年8月 会報、名簿、総会案内の発送
- 9月 代議員会
研修会
- 10月 代議員会
総会(帝國ホテル)…30日
- 11月 代議員会
聖徳祭…26日、27日
- 12月 代議員会
- 63年1月 代議員会
- 2月 代議員会
- 3月 卒業式
謝恩会
代議員会
- 4月 入学式
新入生歓迎会
- 5月 代議員会
- 6月 代議員会
- 7月 代議員会



22回生会員名簿について

このたび、22回生（63年3月卒業生）の名簿を発行することとなりました。しかし、部数に限りがある為22回生の方だけに配布するという形をとらせていただきます。あしからず、ご了承下さい。

会員の皆様のお便りをお伝えするための名簿ですが、最近、セールスやサークル勧誘などをはじめ、悪用されているとの報道も耳にします。ご活用なさるほか、名簿の管理にもご留意下さいますようお願い致します。

※なお、名簿におきましての誤記載や変更、その他お気づきの点がございましたら、香和会室までご連絡下さい。

〔昭和63年3月を以って退職された先生方〕

※敬称略

教授 薄田 司（保育） 永井萌二（保育）
 助教授 小川哲也（初等） 野川春夫（初等）
 保健センター 鈴木悦子

初等教育学科教授 鍋島一郎先生 逝去
 鍋島一郎先生には、去る昭和62年5月16日逝去されました。

先生のご尽力に深甚の感謝を以って、ご生前のご活躍を讃えと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

昭和62年度収支決算書

— 収 入 —

科目	区分	予算額	決算額	比較増減
会 費		32,660,000	32,660,000	0
預金利息		1,000,000	809,954	△ 190,046
雑 収 入		0	1,321,850	1,321,850
合 計		33,660,000	34,791,804	1,131,804

会費 @ ¥10,000×3,266名

— 支 出 —

科目	区分	予算額	決算額	比較増減
定期総会経費		3,500,000	2,970,940	529,060
会報発行費		1,500,000	1,781,262	△ 281,262
新入生歓迎会費		1,300,000	1,080,000	220,000
卒業記念品費		2,300,000	2,059,800	240,200
聖徳祭費		500,000	286,969	213,031
研 修 費		500,000	294,700	205,300
会 議 費		1,000,000	596,403	403,597
クラス会補助費		100,000	16,000	84,000
印 刷 費		70,000	52,500	17,500
通信・運搬費		150,000	102,050	47,950
旅費・交通費		200,000	95,000	105,000
事 務 費		1,500,000	1,363,461	136,539
慶 弔 費		800,000	400,260	399,740
ハッピーウェディング費		200,000	143,710	56,290
コンピュータ経費		3,000,000	2,301,820	698,180
雑 費		50,000	21,341	28,659
予 備 費		16,990,000	0	16,990,000
合 計		33,660,000	13,566,216	20,093,784

昭和63年度収支予算書(案)

— 収 入 —

科目	区分	予算額	前年度決算額	比較増減
会 費		29,400,000	32,660,000	△ 3,260,000
預金利息		500,000	809,954	△ 309,954
雑 収 入		0	1,321,850	△ 1,321,850
合 計		29,900,000	34,791,804	△ 4,891,804

会費 @ ¥10,000×2,940名

— 支 出 —

科目	区分	予算額	前年度決算額	比較増減
定期総会経費		3,300,000	2,970,940	329,060
会報発行費		2,300,000	1,781,262	518,738
名簿発行費		1,800,000	0	1,800,000
新入生歓迎会費		1,400,000	1,080,000	320,000
卒業記念品費		3,200,000	2,059,800	1,140,200
聖徳祭費		500,000	286,969	213,031
研 修 費		700,000	294,700	405,300
会 議 費		2,000,000	596,403	1,403,597
クラス会補助費		50,000	16,000	34,000
印 刷 費		150,000	52,500	97,500
通信・運搬費		200,000	102,050	97,950
旅費・交通費		200,000	95,000	105,000
事 務 費		300,000	1,363,461	△ 1,063,461
人 件 費		1,700,000	0	1,700,000
慶 弔 費		1,000,000	400,260	599,740
ハッピーウェディング費		200,000	143,710	56,290
コンピュータ経費		800,000	2,301,820	△ 1,501,820
雑 費		50,000	21,341	28,659
予 備 費		10,050,000	0	10,050,000
合 計		29,900,000	13,566,216	16,333,784

※上記表のうち、「区分」の欄に一部表示変更のあったことをご報告いたします。

第21回 香和会総会 並びに 懇親会 開催

昭和63年度香和会総会並びに懇親会を、下記のように開催いたします。会場は、昨年度ご好評をいただきました帝国ホテルに決定いたしました。お忙しいこととは存じますが、お友達をお誘いあわせのうえ、多数ご出席下さいませ。お待ちしております。

日時：昭和63年10月30日（日）

午前11時より

場所：帝国ホテル 本館中2階光の間

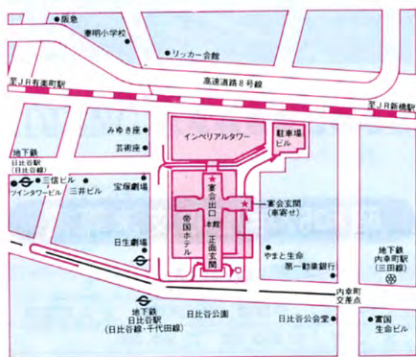
（右略図をご参照下さい）

会費：7000円

（経費の半額を香和会で援助しており、
会費は援助後の金額となっています。）

*なお、当日は平服でお越し下さい。

*同封の出欠席ハガキは、9月30日までに
香和会室に届きますようお願い致します。



交通のご案内

地下鉄 銀座駅(徒歩5分) JR 有楽町駅(徒歩5分)
日比谷駅(徒歩2分) 新橋駅(徒歩7分)
内幸町駅(徒歩2分)

帝国ホテル

〒100 東京都千代田区内心町1-1-1 TEL.03(504)1111

かわいいお子様に囲まれ忙しいながらも楽しい日々を過ごしている方、仕事で実力を発揮して頑張っている方、久しぶりに、お世話になった先生方や学友と再会してみませんか？思い出話に花が咲き、楽しいひとときを過ごせることと思います。さらに、香和会へのご意見等もお聞かせ下されば、幸いです。



▲どのお料理をいただくかしら…と思案中



▲今にも「乾杯！」という声が聞こえてきそう

昨年の総会返信ハガキより一部ご紹介いたします

- * 2歳の娘に「ママだめねえ〜」と言われながら、毎日主婦業に追われています。(12・山田)
- * 長女が藤代中学に入学することが出来ました。親子で総会に出席できることを楽しみにしています。(1・岩沢)
- * 時々テストが近い頃になると、必死で勉強している夢をみます。(20・道明)
- * 先日、ようやく満一歳を迎えた長男と共に、思い出の沢山つまった校舎を見て参りました。(17・武田)
- * 卒業して18年。学園の大きな発展に、おどろきと感激一杯です。(3・田村)
- * 今年初めて山中湖荘を利用させていただきました。設備よし、食事もよし、子供達も大喜びでした。(7・栗原)
- * 欠勤・遅刻・早退ゼロ。元気で仕事に励んでおります。(21・本間)
- * 卒業して年数がたてばたつ程、学生時代がなつかしく思い出されます。(13・山本)
- * 聖徳のすぐそばの公園で知り合った彼が、今や三児のパパ。頭に白いものが目立ってきました。(6・伊藤)

発行所 聖徳学園短期大学 香和会
 発行人 長江暎子

〒271 松戸市相模台531 ☎0473-65-1111 (大代)
 印刷所 株式会社 集美堂 千代田区神田錦町2-9